

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証について

1. 申請主体 御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町
2. 事業名称 体験交流型観光を基軸とした御坊日高広域まちづくりプロジェクト
～人こそが地域を創る～
3. 実施期間 2021～2025 年度の5年間

4. 事業概要

観光振興を基軸にした協働によるまちづくりを進めるため、1市6町の広域連携及び官民協働による地域内外の人をつなぐ新たな組織を設立し、体験交流型観光の推進体制を整備し、教育旅行を中心にした団体の体験交流型旅行の受入等を行う。これにより、交流人口及び関係人口を拡大させ、観光事業者等の売上増加や一次産業従事者の所得向上につながる経済波及効果並びに地域コミュニティの維持・強化、人材育成、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成等といった社会的効果を生むものとする。

5. 交付決定額及び実績額

2021 (R3) 年度	9,684 千円
2022 (R4) 年度	8,850 千円
2023 (R5) 年度	8,500 千円

6. 重要業績評価指標 (KPI)

		事業開始前 (2019年度)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①御坊日高広域のワンストップ 組織の年間売上額 (千円)	目標値		5,200	14,600	23,000	40,000	48,000
	実績値	11,523	9,383	7,256	12,591		
②教育旅行受入人数 (人)	目標値		3,800	5,500	6,000	7,500	8,000
	実績値	4,668	27,835	19,848	11,715		
③民泊受入家庭数 (軒)	目標値		60	80	100	110	120
	実績値	30	52	57	70		
④御坊日高広域のワンストップ 組織会員内の移住者人数 (人)	目標値		+5	+5	+2	+2	+2
	実績値	19	+13	+5	+6		

7. 分析

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の柱である教育旅行民泊の本格的な再開が2023年度からとなり、現状民泊受入可能人数の関係で、大規模教育旅行民泊の申込みを数件断っている状況であり、その結果 KPI①が未達成である。

また、民泊受入ができなかった期間が会員のモチベーションの大幅低下を招き、コロナや高齢化を理由に退会する方が多数出た。想定外に退会者が出たことやコロナ禍で新たな民泊家庭を積極的に募集する取組ができなかったことも影響し、KPI③が未達成である。

2021～2022年度は地方部に行き先を変更する教育旅行が増えたため KPI②が増えていたが、コロナの影響がなくなり2023年度は減少した。

8. 外部組織からの意見

- ・大規模の民泊受け入れはワンストップ組織の売上額増加につながると考えられるため、今後、地域内で新規受け入れ家庭を開拓し、早急に民泊受入可能人数を増やすべきである。
- ・空き家を民泊受け入れに活用している事例もあり、受入可能人数を拡大するために、空き家を活用する取り組みを行ってはどうか。

9. 今後の方針

外部組織である日高広域観光振興協議会による意見を踏まえ、民泊受入可能人数の拡大を喫緊の課題として設定。

今後、地域内で、会員の体験談を踏まえた民泊の魅力発信等を行うなど、新規受入家庭を掘り起こすための取組を強化することで、各 KPI の達成を図る。